

2017年10月10日

各位

第一フロンティア生命保険株式会社

## 「UCDAアワード2017」において「実行委員会特別表彰」を受賞

第一フロンティア生命保険株式会社(社長:川島 貴志)は、優れたコミュニケーションデザインを表彰する「UCDAアワード2017」において「実行委員会特別表彰」を受賞しました。

本賞は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(以下、UCDA)が、「情報品質」への取り組みや姿勢を評価した企業に対し、表彰するものです。

第一生命グループは「一生涯のパートナー」のグループミッションのもと、2017年3月に「お客さま第一の業務運営方針」を策定・公表しました。当社は、お客さま本位の具体的な取り組みの一環として、お客さまの声の分析や代理店のご意見・ご要望の収集による、パンフレットなどの販売資料やお客さま向け通知などのわかりやすさ向上に向けた改善に取り組んでいます。

さらに、第三者(外部機関)による評価の反映やノウハウの収集・共有化の観点から、UCDAによるコンサルティングを受け、UCDA認証「伝わるデザイン」取得に向けた改善取り組みを進めるとともに、UCDA認定資格を多くの従業員が取得するなど、従業員一人ひとりがお客さま目線を持ち業務に取り組んでいます。

今回、生命保険会社として、お客さまへ大切な情報をわかりやすく伝えることを目的とした、販売資料・通知などのわかりやすさ向上取り組みや、それを実現するための従業員の意識醸成、スキル向上に全社横断的に取り組む姿勢が高い評価を受け、本賞の受賞に至りました。

当社は今後も、より質の高いサービスのご提供を通じ、お客さまから選ばれ続ける保険会社となるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります。

以上

### ■一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA)

2007年に設立された、産業・学術・生活者の集合知による客観的な評価基準を用い、第三者機関として「見やすく、わかりやすく、伝えやすく」の観点から評価・認証を行う団体です。

### ■UCDAアワード

UCDAが主催する、企業(団体)・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の知見により開発した尺度を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。

「第三者」による客観的な評価  
**UCDA**  
**AWARD**  
**2017**